

チェック表

花き日持ち品質管理認証の要件：流通部門（市場）



項目	チェックポイント	基準	評点		備考
			配点	評点	
荷受	清掃	清掃されているか	5		
	温度・湿度	温度・湿度は管理されているか	5		10～25℃が望ましい
	取扱	商品は丁寧に扱われているか	5		
	荷受検査	品質基準が定められているか	5		
	履歴管理	産地情報（産地名、品目、品種等）	10		
荷捌場	清掃	清掃されているか	5		
	温度・湿度管理	定められた管理がなされているか	10		10～25℃が望ましい
	取扱	商品は丁寧に扱われているか	5		
保管庫	温度・湿度	5～10℃	5		
滞留日数	入荷から出荷までの日数	2日以下	10		
管理	日持ち試験室	日持ち試験室の保有	10		日本花普及センターの基準が望ましい
	品質方針	品質方針が定められているか	10		
	研修制度	作業、品質管理等研修制度があるか	5		
	改善マネジメント	業務改善システムがあるか	5		
	顧客との情報交換	顧客満足度調査をして、対応を含めて記録しているか	10		
	クレーム処理	対応も含めて記録しているか	5		
合 計			110		

注) 着色項目は必須事項。

「評点」には、基準を満たす場合には「配点」通り、満たさない場合には「0点」をご記入ください。



花き日持ち品質管理認証の要件の解説:流通部門(市場)

項目	チェックポイント	解説
荷受	清掃	荷受場を清潔にしないと、病原微生物などの増殖が促進され、それにより灰色かび病などの病害発生などを引き起こす。
	温度・湿度	切り花の日持ちは温度と湿度に大きく影響される。高温では貯蔵糖質を消費して日持ちが短くなる。また低湿度では蒸散が促進され水揚げが悪化し、高湿度では病害の発生を助長する。
	取扱	商品を丁寧に取り扱いしないと品質が低下するだけでなく、傷害や受粉により日持ちも短縮する。
	荷受検査	商品の品質に客観性を持たせるためには、品質基準を定めておくことが必要である。
	履歴管理	買参人に安心して切り花を購入してもらうためには、産地情報を把握し、必要に応じて提供することが必要である。
荷捌場	清掃	荷捌場を清潔にしないと、病原微生物などの増殖が促進され、それにより灰色かび病などの病害発生などを引き起こす。
	温度・湿度	切り花の日持ちは温度と湿度に大きく影響される。高温では貯蔵糖質を消費して日持ちが短くなる。また低湿度では蒸散が促進され水揚げが悪化し、高湿度では病害の発生を助長する。
	取扱	商品を丁寧に取り扱いしないと品質が低下するだけでなく、傷害や受粉により日持ちも短縮する。
保管庫	温度・湿度	切り花の日持ちは温度と湿度に大きく影響される。高温では貯蔵糖質を消費して日持ちが短くなる。また低湿度では蒸散が促進され水揚げが悪化し、高湿度では病害の発生を助長する。
滞留日数	入荷から出荷までの日数	切り花の日持ちは限られており、滞留日数が増加すると消費者段階での日持ちが短縮する。そのため、出荷までの滞留時間は2日以内にしなければならない。
管理	日持ち試験室	流通している切り花がどの程度の日持ちがあるかを客観的に示すためには、日持ち試験室を保有して日持ちを調査することが不可欠。
	品質方針	商品の品質に客観性を持たせるためには、品質方針を定めておくことが必要である。
	研修制度	従業員の労働災害を防ぎ、企業の経営を安定させるためには、作業、品質管理等研修制度が必要である。
	改善マネジメント	従業員の作業効率を向上させるためには、業務改善システムが必要である。
	顧客との情報交換	切り花の販売を促進するためには、顧客満足度調査により問題の改善を図ることが必要である。
	クレーム処理	日持ちのよい切り花を安定的に販売するためには、クレームに対する原因を解決するとともに、今後繰り返されることを避けるため、記録しておくことが必要である。